

2016年6月9日

ICDAホールディングス株式会社

(東証二部・名証二部 3184)

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2016年3月期 決算説明資料



2016年3月期 決算概要

- 軽自動車税の増税とエコカー減税の見直しの影響
- 一部メーカーの不正等による、販売台数の落ち込み
- 販売コスト等を削減し、増益へ
- 新車販売台数 4,613台（前年同期比18.2%減）
- 中古車販売台数 9,521台（前年同期比 1.1%増）

2017年3月期 計画

- 亀山地区の新店舗オープン
（新車販売・中古車販売併設店舗）
- 自社コールセンターを活用した営業サポートの強化
- 地域競合店との優位性を高め「地域一番店」を目指す

自動車販売関連事業

自動車リサイクル事業

(株)ホンダ四輪販売三重北

- 新車販売（ホンダ正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）



(株)オートモール

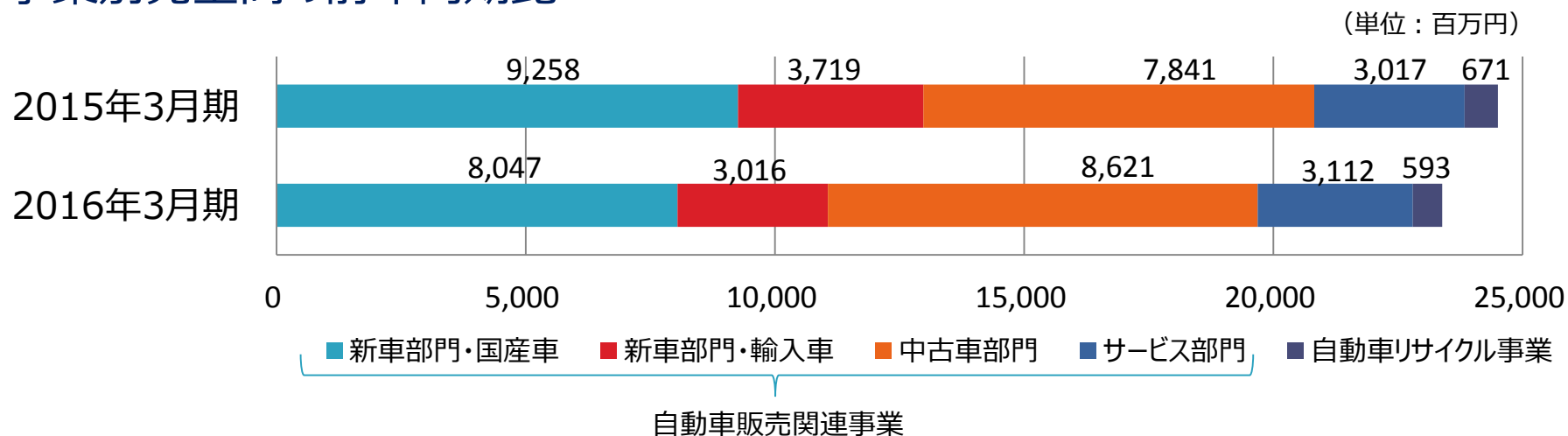
- 新車販売
ポルシェ（正規ディーラー）
Audi（正規ディーラー）
VW（正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）

(株)マーク・コーポレーション

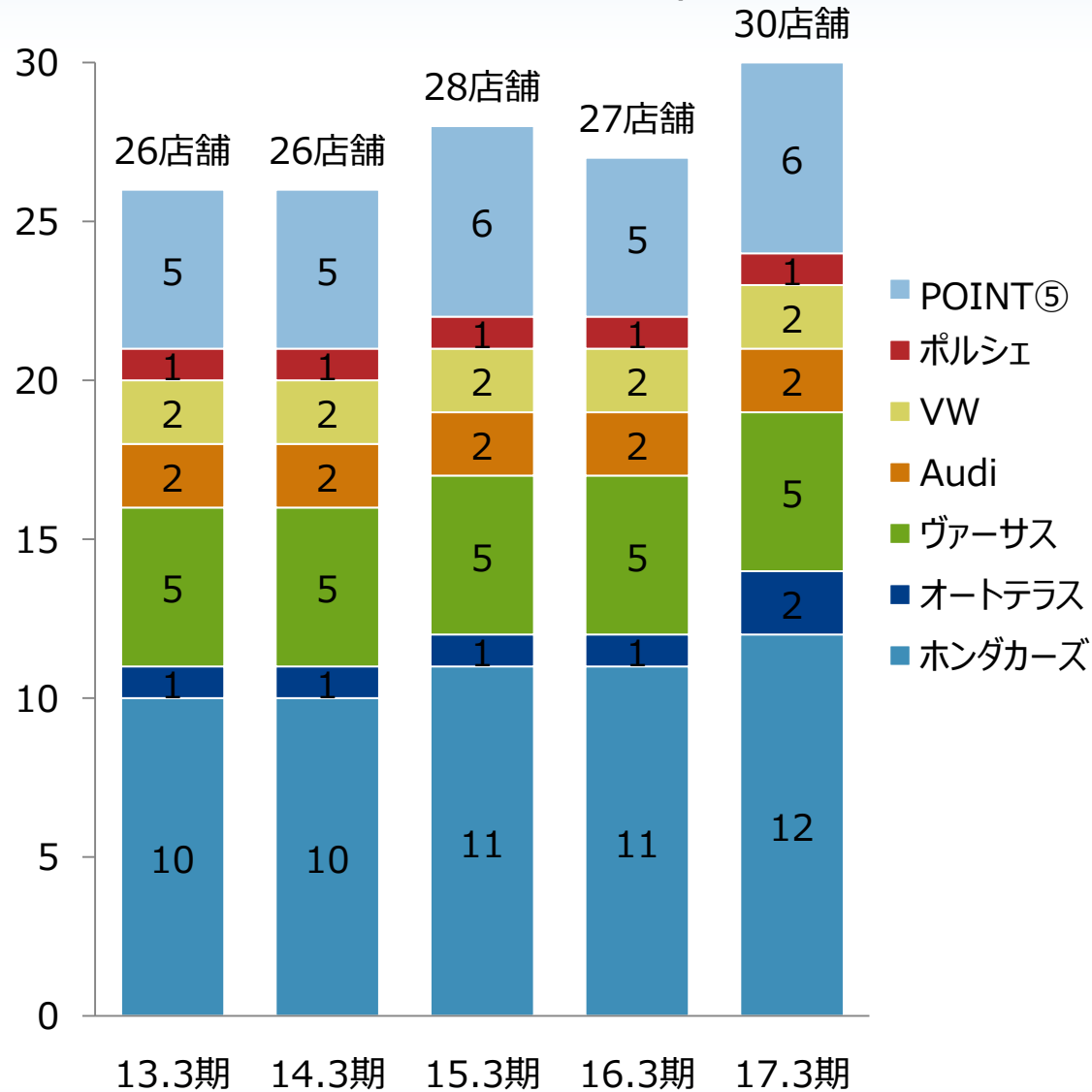
- 鈴鹿オートリサイクルセンター



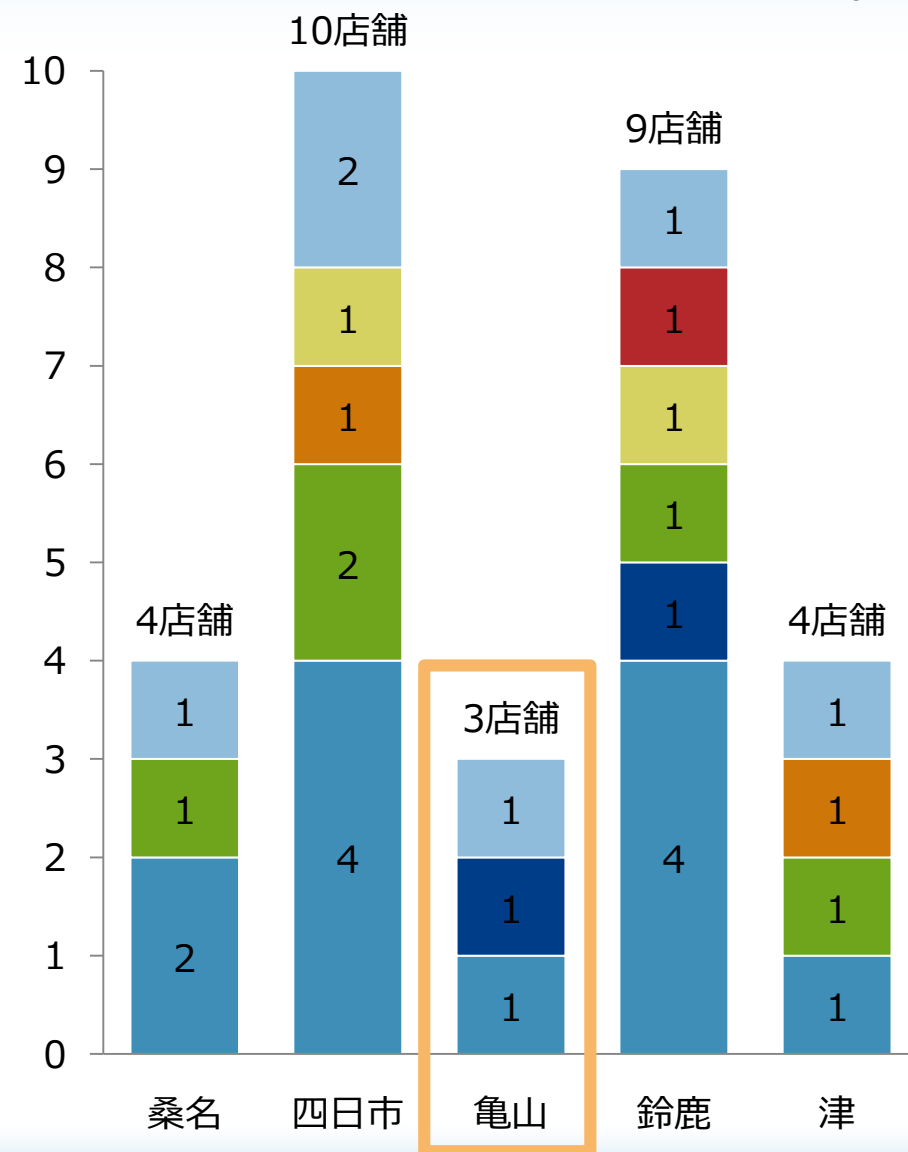
事業別売上高の前年同期比



出店状況の推移 (5年間)



2017年3月期のエリア別出店状況 (予定)



【長期的な営業環境】

- 自動車の保有台数のゆるやかな減少
- 自動車の乗替えサイクルの長期化
- 環境対応車の発表により、燃費競争が加速

【2016年3月期の営業環境】

- 軽自動車税の増税とエコカー減税の見直しによる買い控え
- 一部メーカーのディーゼル車排気ガス不正問題の影響
- 鉄・アルミ等の資源価格の相場下落の影響

(単位：百万円)

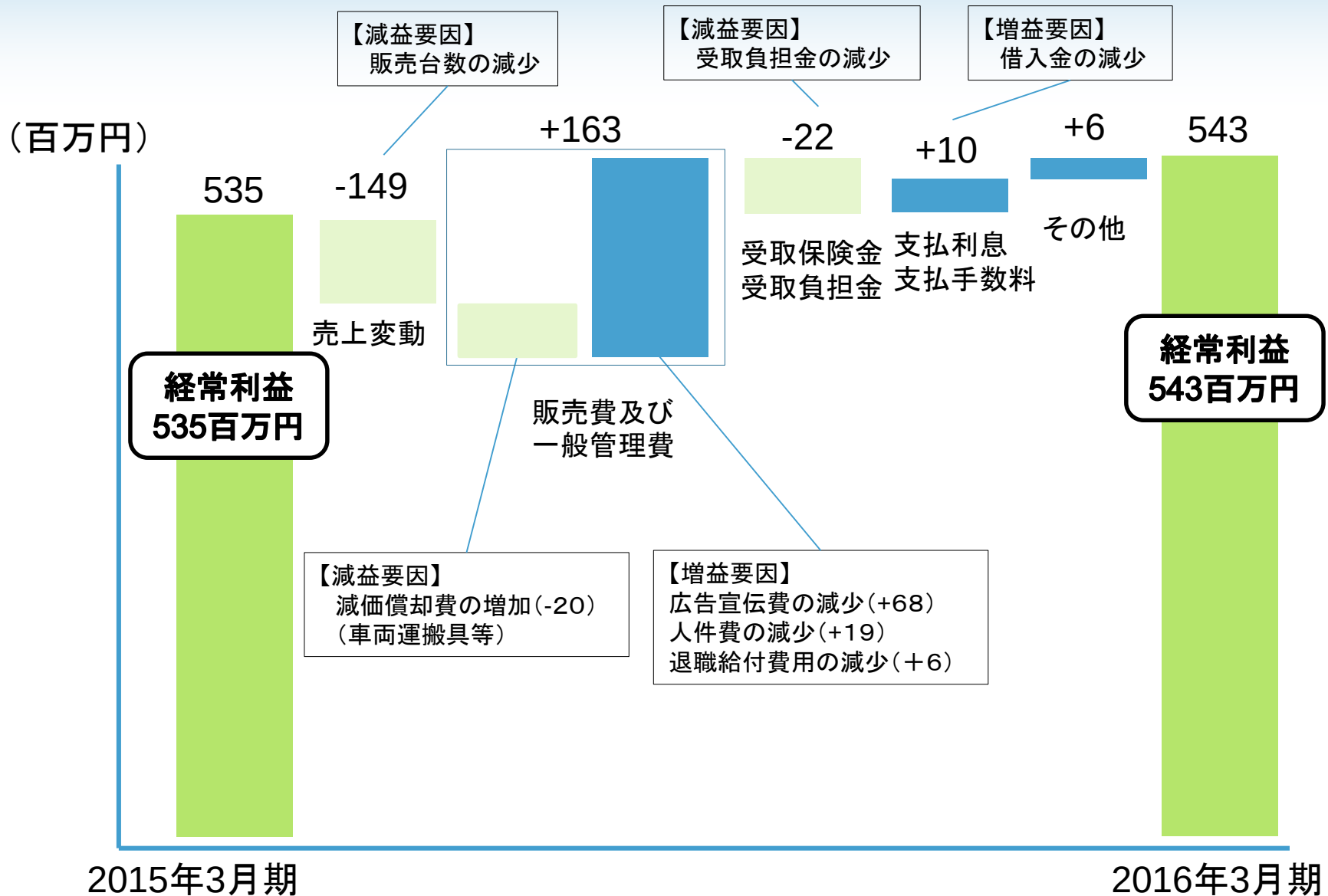
	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比 (%)	2017年3月期 通期計画	前年同期比 (%)
売上高	24,522	23,411	95.5	24,100	102.9
売上原価	20,081	19,120	95.2	19,635	102.7
売上総利益	4,440	4,291	96.6	4,464	104.0
販売管理費	3,873	3,709	95.8	3,793	102.3
営業利益	566	581	102.6	670	115.4
営業外損益	△31	△37	—	△50	—
経常利益	535	543	101.6	620	114.1
親会社株式 に帰属する四 半期純利益	288	331	115.2	422	127.4

事業別売上高の構成

(単位：百万円)

		2015年3月期	2016年3月期	前期比 (%)	構成比 (%)
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	9,258	8,047	86.9	34.4
	新車部門 (輸入車)	3,719	3,016	81.1	12.9
	中古車部門	7,841	8,621	109.9	36.8
	サービス部門	3,017	3,112	103.1	13.3
	合 計	23,850	22,818	95.7	97.5
自動車リサイクル事業		671	593	88.4	2.5
合 計		24,522	23,411	95.5	100.0

利益増減要因分析



(単位：百万円)

項 目			2015年 3月期	2016年 3月期	増減
資 産 の 部	流 動 資 産	現金及び預金	1,507	814	△693
		受取手形及び売掛金	315	290	△25
		商品及び製品	2,412	2,634	222
		その他	294	252	△42
		流動資産合計	4,528	3,990	△538
	固 定 資 産	有形固定資産	9,853	9,852	△1
		無形固定資産	67	63	△4
		投資その他資産	814	835	21
		固定資産合計	10,735	10,750	15
	資産合計		15,263	14,741	△522

項 目			2015年 3月期	2016年 3月期	増減
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流 動 負 債	買掛金	1,999	1,866	△133
		短期借入金	4,125	3,350	△775
		未払法人税等	167	124	△43
		その他	1,302	2,204	902
		流動負債合計	7,594	7,544	△50
	固 定 負 債	長期借入金	2,780	2,056	△724
		役員退職慰労引当金	258	272	14
		退職給付に係る負債	527	618	91
		その他	52	56	4
		固定負債合計	3,618	3,002	△616
	負 債 合 計		11,213	10,546	△667
	純 資 産	資本金	1,161	1,161	0
		資本剰余金	1,148	1,148	0
		利益剰余金	1,572	1,799	227
		株主資本合計	3,882	4,109	227
		その他の包括利益累計額合計	43	△38	△81
		非支配株主持分	124	123	△1
	純 資 産 合 計		4,050	4,194	144
	負債純資産合計		15,263	14,741	△522

資金の効率化

- 借入金を圧縮したことで現金及び預金が減少
- 手持資金を利用することで借入金が減少

2017年3月期計画

セグメント		2017年3月期の営業環境
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	軽自動車増税の影響が継続
	新車部門 (輸入車)	一部メーカーの不正問題による影響が継続するが回復傾向を見込む
	中古車部門	中古車市況は持ち直しつつあるが、一部メーカーの不正問題による影響が継続
	サービス部門	車検対象車が過去最大
自動車リサイクル事業		鉄・アルミ等の資源価格低迷の影響が継続

(単位：百万円)

	2016年3月期実績	2017年3月期計画	前期比 (%)
売上高	23,411	24,100	102.9
売上原価	19,120	19,635	102.7
売上総利益	4,291	4,464	104.0
販売管理費	3,709	3,793	102.3
営業利益	581	670	115.4
営業外損益	△37	△50	—
経常利益	543	620	114.1
親会社株主に帰属する当期純利益	331	422	127.4

2017年3月期 事業別売上高計画

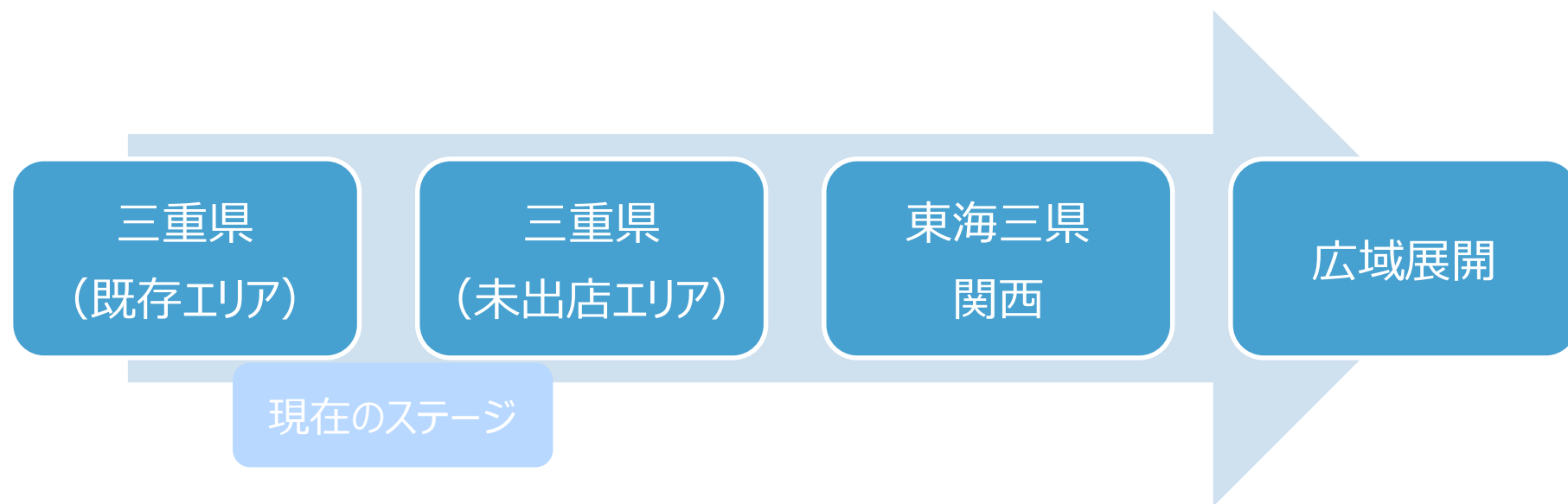
(単位：百万円)

		2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	前期比 (%)	構成比 (%)
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	8,047	8,986	111.7	37.3
	新車部門 (輸入車)	3,016	3,895	129.1	16.2
	中古車部門	8,621	7,513	87.1	31.2
	サービス部門	3,112	3,050	98.0	12.6
	合 計	22,818	23,464	102.8	97.3
自動車リサイクル事業		593	663	111.8	2.7
合 計		23,411	24,100	102.9	100.0

セグメント		施策
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	過去最大の車検到来に対する代替提案 オールラインナップ（軽・スモール・ミニバン・ハイブリッド・セダン）に合わせた販売の強化 用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善
	新車部門 (輸入車)	ターゲットリスト作成による代替強化 & DM・チラシ強化より新規来店誘引 在庫（新車・認定中古車）販売促進による資金流動性改善 保険等による手数料収入の固定費カバー率改善
	中古車部門	チラシ・ネットによる新規来店誘引 既存ユーザーに対する代替提案強化 在庫回転率の強化
	サービス部門	コールセンター等を活用した車検・法定12か月点検等の入庫促進 リコール対象車の回収促進／アフターパーツへの取組強化 過去最大の車検到来に対する守りきりと作業環境の整備
自動車リサイクル事業		使用済自動車の安定的確保 リユースパーツ販売の強化

今後の戦略

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的には **M & A** を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランド P O I N T ⑤ を **積極展開**



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 八野モータープール（三重県鈴鹿市）が2014年3月に完成
- 自動車業界において問題となっている、**路上積み下ろしを解消**

【今後の活用方法】

- ・ P Bカー（自主企画カスタマイズカー）製作工場
- ・ グループ新車・中古車デポックスセンター



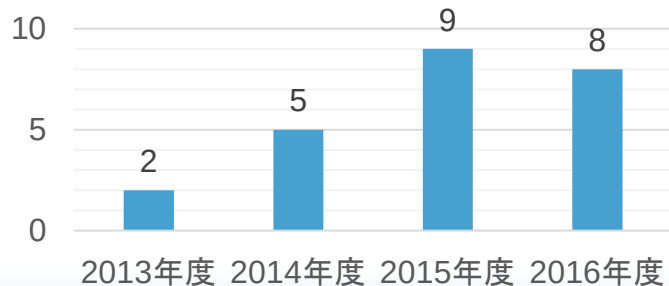
約20,000坪の敷地面積

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに**女子力**を活用
- 女性目線**を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は8店舗を予定

■女子サービスフロントの推移(人)



地域経済 11版 2014年(平成26年)7月2日(水曜日)

自動車整備に女子力

追跡 人手不足

自動車の販売店で、車検や修理を担う国家資格の自動車整備士のなり手が減っている。若者の車離れが進み、養成する専門学校への入学希望者も十年間で半減。ハイブリッド車(HV)などエコカーの普及で高度な知識を持つ整備士の需要が増える中の人手不足は深刻な課題。獲得に必死の販売店は、女性整備士の採用に活路を見いだすなど模索に乗り出した。(池内 遼)

つなぎ姿の小柄な女性が、ボルトを手際よく締め付けていく。「ホンダカース三重北鈴鹿道徳店」(三重県鈴鹿市)で働く喜多千代美さん(31)は、自動車販売店グループ「ICDAホールディングス」(同)が初めて採用した女性整備士だ。入社四年目で、毎月一百台の車検をこなす。子どものころからスポーツカーが好きで、整備士の道を選んだ。後輩の指導も抱い職場リターナーとして忙しい。「少ない応募の中から、良い整備士を採用する必要がある。女性は重要な選択

肢だった」と同社副社長の向井俊樹さん(40)。車を修理し、安全を保証する整備士の確保は車販売業にとって死活問題。力仕事だが、喜多さんは道具を駆使し、仕事の改善にも取り組む。向井副社長は「整備士の人材不足はこれからも続く。女性を積極的に採用していく」。同グループは既に来年入社採用で二人目の女性整備士を内定した。



人手不足の自動車整備業界で働く喜多千代美さん＝三重県鈴鹿市で

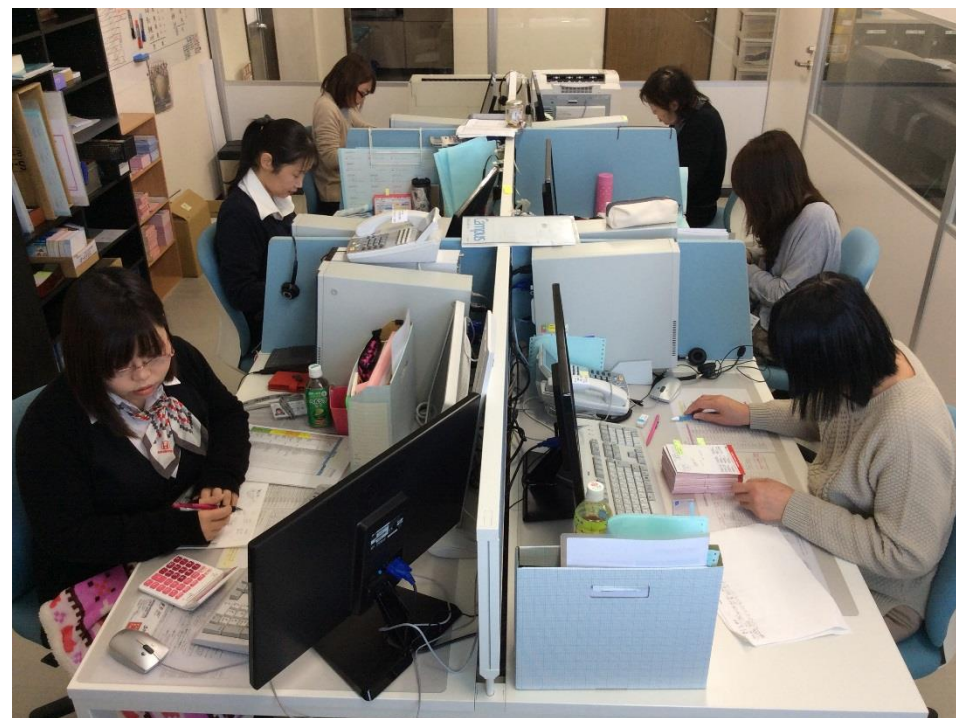
掲載日 中日新聞朝刊 (2014年7月2日) 11ページ
 中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

- 今秋、三重県亀山市に新店舗（新車販売・中古車販売併設店舗）オープン予定（約11,000坪の広大な敷地）
- 自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設を計画
- 5月14日に地鎮祭を実施



※ 写真はイメージ図です。

- 2015年4月に、アウトバウンド型（発信型）の自社コールセンターを開設
- 「顧客との対話」の原点に立ち帰り営業を支援、また顧客情報の改廃を図り、常に最新の顧客情報を保持



- 本年6月22日開催予定の当社第7回定時株主総会の承認を条件として、コーポレート・ガバナンスの一層の強化の観点から、「監査等委員会設置会社」へ移行することを決定

移行の目的

- 構成員の過半数を社外取締役とする監査等委員会を置き、複数の社外取締役の選任を通じて取締役会の監督機能を高めることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の強化を図る

移行の時期

- 本年6月22日開催予定の定時株主総会および本定時株主総会後の取締役会の決議を経て、監査等委員会設置会社へ移行

【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

2017年3月期 配当金予想

	配当性向（連結）	1株当たり配当金
2015年3月期	36.4%	50円
2016年3月期	31.6%	50円
2017年3月期（予想）	24.8%	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

参考資料

社名 ICDAホールディングス株式会社

設立 2009年10月1日

本社 三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者 代表取締役社長 向井弘光

資本金 1,161百万円

発行済株式総数 2,099,936株（自己株式64株を除く）

事業内容 自動車販売関連事業
自動車リサイクル事業

売上高 23,411百万円（連結）
（2016年3月期）

経常利益 543百万円（連結）
（2016年3月期）

従業員数 343名（連結）
（2016年3月期）

1967年
■ 三重県鈴鹿市に
向井自動車商会を創業

1969年
■ ホンダ車の販売を開始

1998年
■ 輸入車ディーラーを開始
■ 自動車の街
「鈴鹿オートモール」を開設

2004年
■ オートリサイクルセンター
設立に参加

Audi 2009年
■ 持株会社ICDA
ホールディングス(株)を設立

2013年
JASDAQ上場
名証二部上場
2014年
東証二部市場変更



HONDA



三重県の地域別推計人口と店舗数（2017年3月末計画）

地 域 名	人口比率 (%)	店舗数	範 囲
桑名	12.0	4	桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡
四日市	20.8	10	四日市市・三重郡
鈴鹿・亀山	13.6	12	鈴鹿市・亀山市
津	15.6	4	津市
松阪	11.6	—	松阪市・多気郡
伊勢	13.3	—	伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡
伊賀	9.3	—	名張市・伊賀市
尾鷲	1.9	—	尾鷲市・北牟婁郡
熊野	2.0	—	熊野市・南牟婁郡
合計	100.0	30	

出店済エリア

未出店エリア

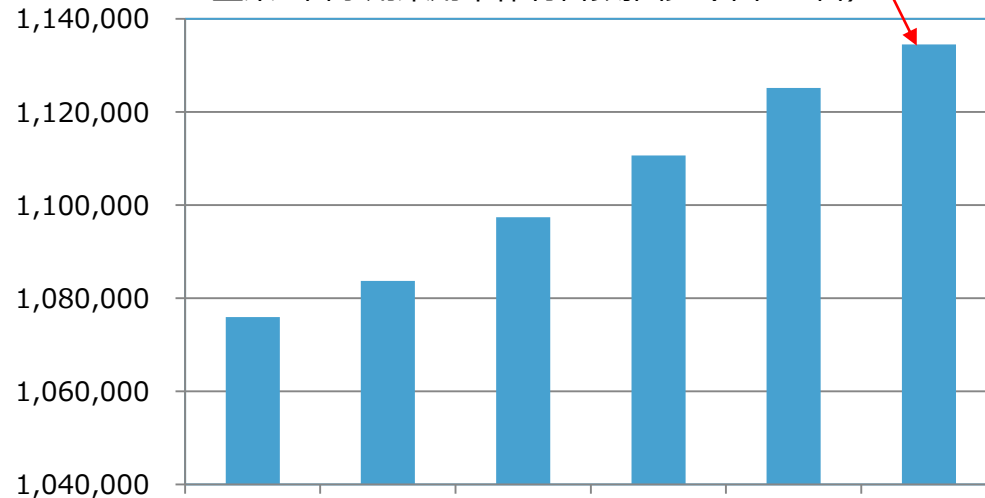
出所：三重県公式HP 2016年4月1日現在、「三重県年齢別人口調査結果」より当社作成

東海三県の自家用乗用車（※）の普及台数及び保有台数（2015年3月末）

県 名	普及台数/世帯 (台)	全国順位	保有台数 (台)	全国順位
愛知	1.295	26位	4,054,840	1位
岐阜	1.607	7位	1,279,850	17位
三重	1.467	14位	1,134,517	20位

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会 資料より当社作成

三重県の自家用乗用車保有台数推移（単位：台）



10年3月末 11年3月末 12年3月末 13年3月末 14年3月末 15年3月末

出所：（社）日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

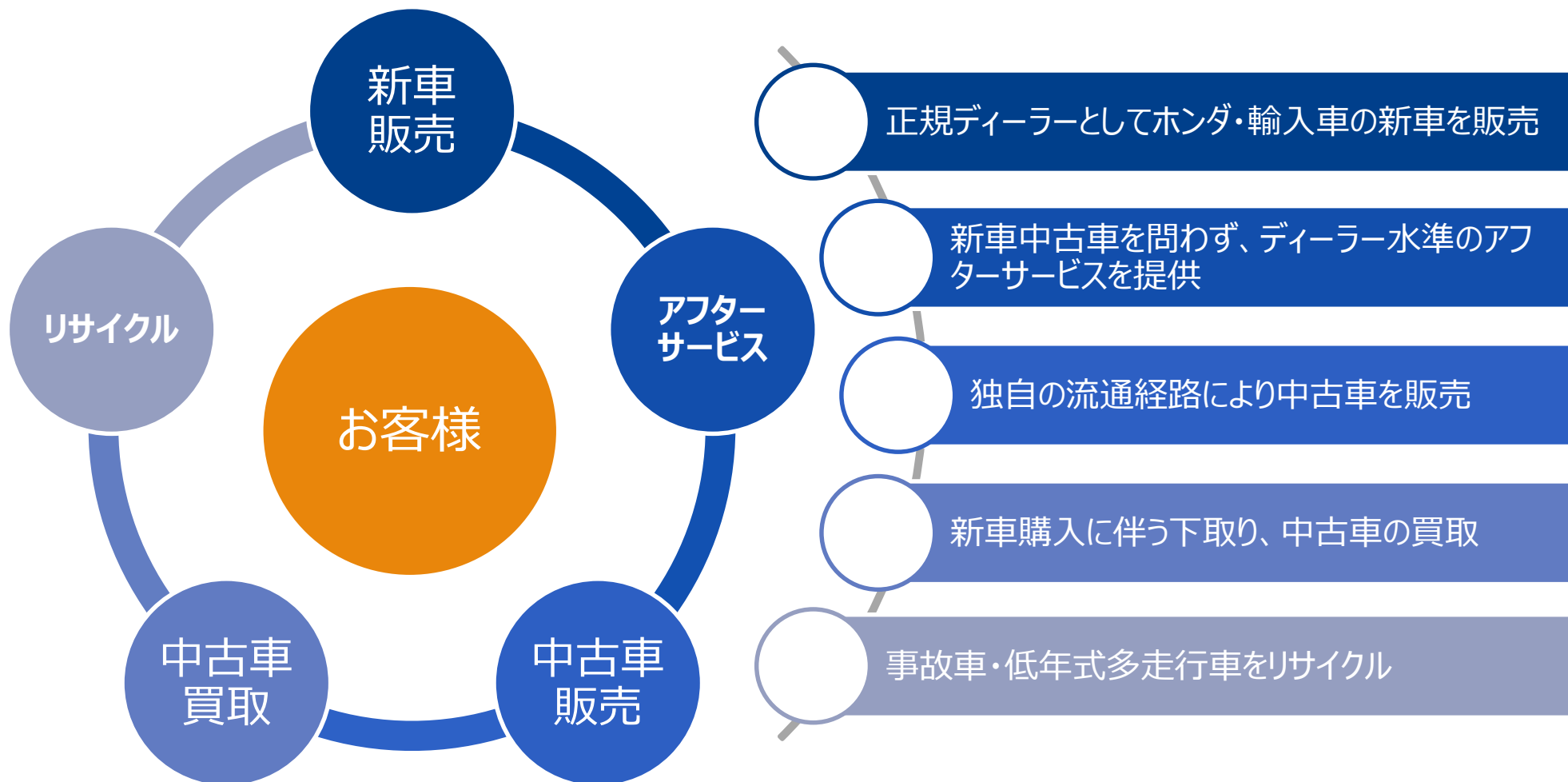
（※）自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、幅広い顧客層にお車を提供することが可能

★はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数台保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向の広領域ユーザー	中
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	低

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加

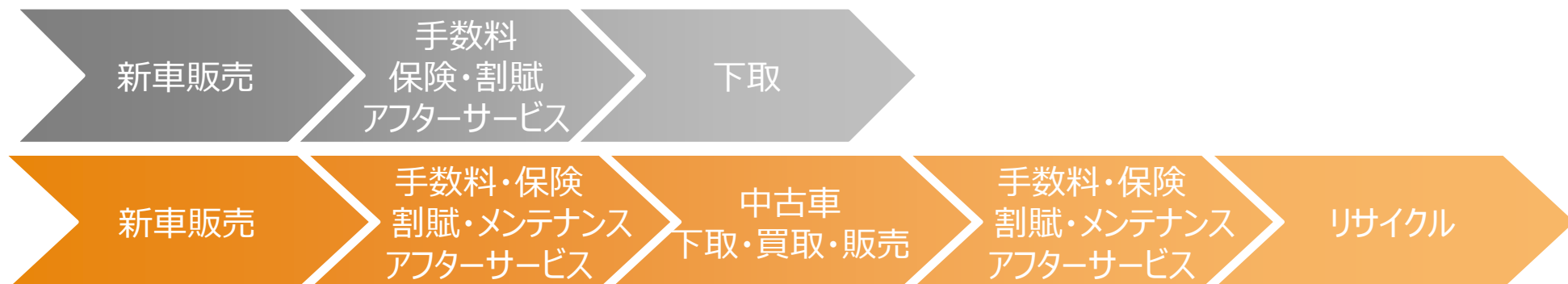
②独自の中古車流通

③リユースパーツの活用

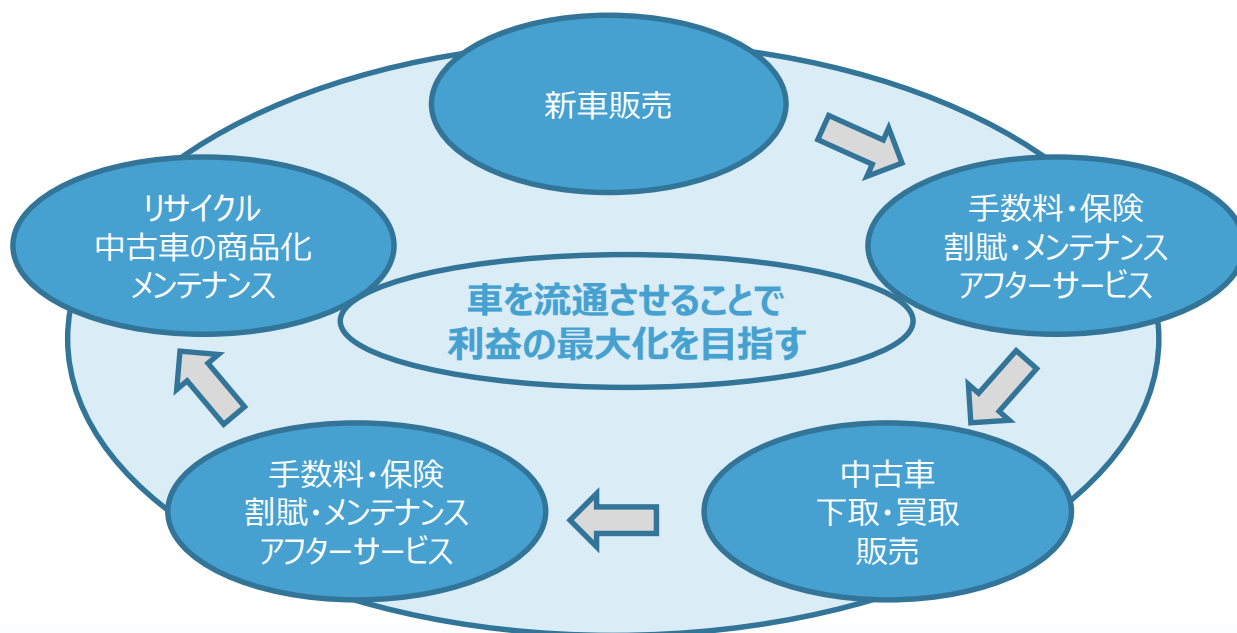
④店舗開発ノウハウ

① 収益機会の増加

- 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネスと、I C D A のバリューチェーンクロス・ミックスビジネスの比較



- 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の**収益機会が増加**



②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求）

ICDAホールディングス

- 車の種類・状態等に合わせ、グループ内で効率よく流通

POINT⑤と鈴鹿オートリサイクルセンターを保有することで、車を売りやすい仕組みを構築



潤沢な中古車の確保が可能



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低コストでの修理が可能となり顧客満足度が向上



- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗展開が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上

(Ⅰ) 複合型店舗

- 新車ディーラーを核とした複合型
- 幅広いターゲットに対応

(Ⅱ) 小規模併設店舗

- POINT⑤と組合せた出店
- 低コストのオペレーション

(Ⅲ) 隣接型店舗

- 商業施設との共同開発
- ファミリー層に対応

自動車リサイクルの工程について



①車両引取り

- 輸送会社と提携
- 早期の集荷作業



②車両保管ヤード

- 800台の平置きが可能な敷地
- 重ね置きしない丁寧な保管



③前処理棟

- リサイクル法を遵守した作業
- フロンガス回収・エアバック車上破壊



④液抜き棟

- 燃料・オイル類・ラジエーター液の回収



⑤⑥反転機

- エンジン・足廻り部品の取り外し



⑦ライン作業場

- 1台の車両に対し2名で作業
- 丁寧な「手バラシ」解体



⑧EPリフト作業場

- 中古部品生産の専用リフト
- 質の高い商品を生産



⑩300トンのプレス

- スクラップボディのプレス
- 70cm×70cm×70cmの形にプレス



プレス出荷

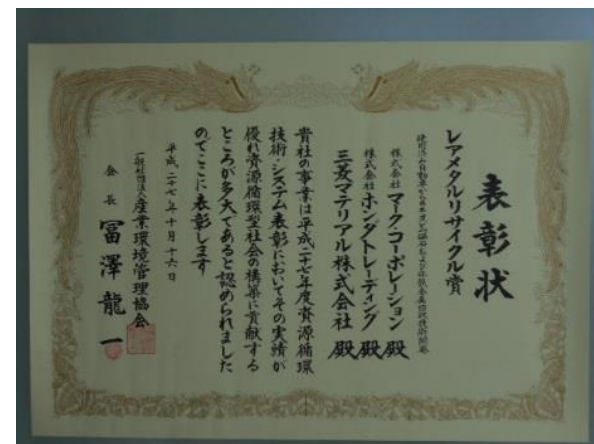
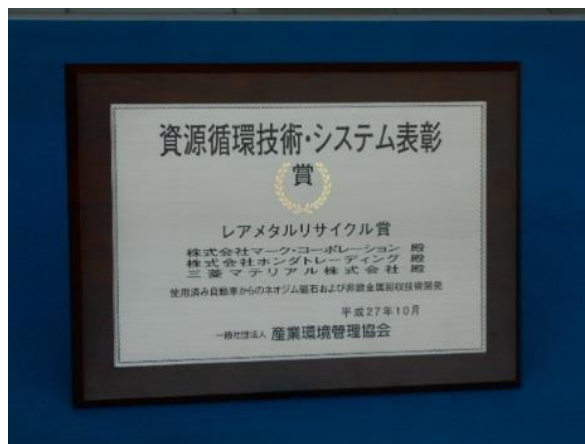
- 鉄鋼メーカーに出荷



国内行き中古部品

- 1万点の在庫保管スペース
- バーコード管理された在庫

- 当社グループの(株)マーク・コーポレーションの次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「資源循環技術・システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞しました。
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と(株)マーク・コーポレーションの3社で共同で実施したNEDO事業「使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発」が評価され、この度の受賞となりました。



鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。というもので、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主は自らハンドルを握り国際的なコースでの走行を楽しんだ。

サーキット走行を楽しむ

【津】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDAホールディングスが25日、株主対象とした「マイカーラン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。国際レーシングコースを株主が持ち込む車両などで走行する企画で、昨年に続いて2回目の開催となった。同日にサーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主は自らハンドルを握り国際的なコースでの走行を楽しんだ。

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年（2015年）7月3日
日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5.8Km）を使用いたしまして、先導車2台付きマイカーランを実施させていただきます。
当社グループ取扱車種もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。
是非、この機会に、ふるってご参加ください。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2015年6月25日（木）

【スケジュール】

受付時間 13:30 センターハウス2F

フリーティング 14:00 センターハウス2F / 走行に関する事前説明会

走行時間 14:30～15:30

【集合場所】 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース センターハウス

【会費】 無料

【申込方法】

本用紙の裏面に記載の注意事項、契約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さいませ。ご記入頂いたご連絡先電話番号に弊社よりご連絡致します。

【お申し込み先】 ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-384-2981

【お申込期限】 2015年6月22日（月）18:00 まで

【問い合わせ】

申込に関するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL:059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当:川畑・石谷
TEL:059-378-1300(平日/9:00～17:00)



鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先

I C D Aホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TEL 059-381-5540

FAX 059-384-2881

URL <http://www.icda.jp/>